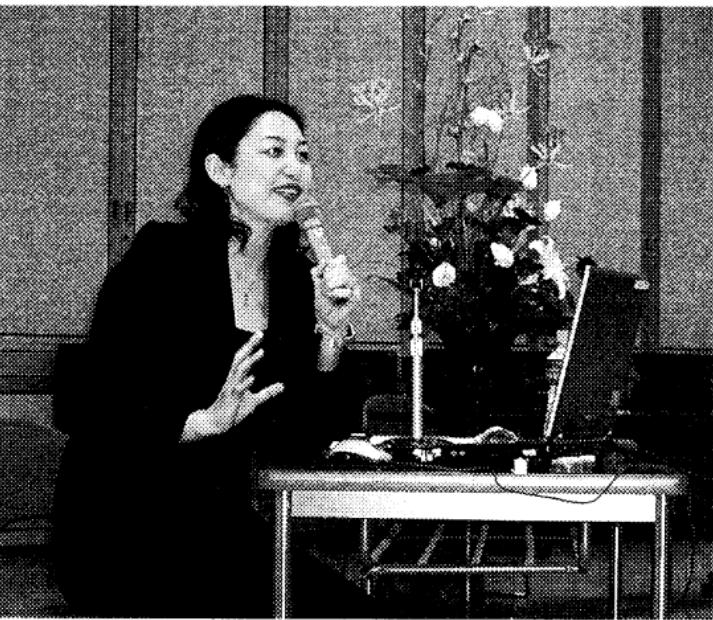


異文化体験を紹介

鶴岡中央高 PTA研修 本紙エッセー連載の村田さん



異文化体験などについて話す村田さん

鶴岡中央高校 PTA（田中俊彦会長）の研修会が11日、同校で開かれ、本紙にエッセー「異文化と心通わせ」を連載している村田佳子さんが講演した。

親たちが見聞を広め、子供の育成に役立てるため、PTA研修部が講師を選し、年に1回、研修会を開催している。今回は親たち110人が参加した。

村田さんは鶴岡南高校から筑波大体育専門学群に進み卒業後、オーストラリアに留学した。帰国後、JICA筑波国際セ

ンターに医療コーディネーターとして勤務し、約120カ国の開発途上国からの研究者や行政官の健康相談、診療通訳に携わった。研究者、アスリートへのコーチング研修も行っている。

本紙連載と同じタイトルで講演した村田さんは大学時代、ペルー人女性と自転車同士で衝突したのを縁に、英語と日本語を教え合う友人関係に発展し、それが初めての「異文化体験だった」と紹介。「彼女に出会い、自分の夢が何かを考えようになった」と人生の転機を語った。

海外の「達人」の例も出しながら、会話における人とのコミュニケーションの取り方についても解説した。そして「古里を離れると高校時代、両親に言わされたことが心の支えになる。残された家族の時間を楽しんでほしい」と呼び掛けた。